

現段階でできることから着手

基本的な
考え方

- ・近代化遺産の保全、活用に対する市民意識を醸成するため、ソフト事業等すぐにでもできることから着手します。
 - ・ランプ小屋や赤レンガ倉庫を市民共有の資産として活用するとともに、それらを結び回遊性を高めることにより、地域全体の魅力向上を図ります。
 - ・敦賀ノスタルジアムの実現を先導するプロジェクトとして、赤レンガ倉庫の耐震補強及び一時利用、ランプ小屋の見える化やライトアップ、市民参加型レンガ舗装に取り組みます。

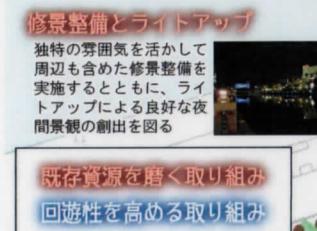
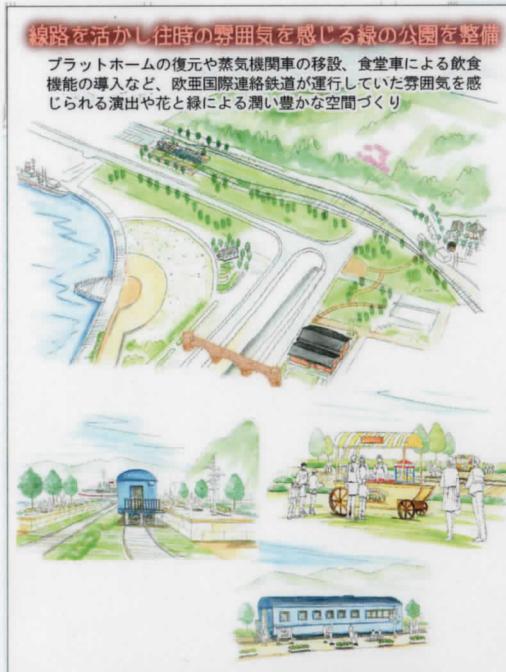


4-3 グランドデザイン【フェーズ2：市民憩いのガーデンスペース】

民間事業者等の用地の活用について調整が整った段階で着手

基本的な考え方

- 休止中の線路を活用し、港と鉄道の歴史を体感しながら、多世代がゆっくりと憩うことができる快適な「緑の公園」を創出します。
- 赤レンガ倉庫は、独特的な雰囲気を通年で味わうことができるよう、飲食機能や歴史などを学べるミュージアム機能、市民が多目的に利用できる貸館機能の導入を図ります。

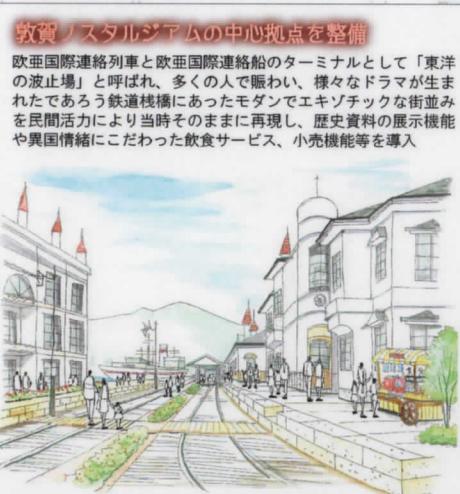


4-4 グランドデザイン【フェーズ3：敦賀ノスタルジアムワーフ】

金ヶ崎周辺に一定の賑わいが創出された段階で民間活力主体による整備を期待

基本的な考え方

- 敦賀ノスタルジアムの核となる交流拠点として「東洋の波止場」と呼ばれた往時のまちなみを再現し、ノスタルジアムを体感できる空間とします。
- 欧州に開かれた玄関口の歴史についての学習機能はもちろん、民間による飲食機能等の立地を期待し、賑わいの憩いの空間とします。



教資港

ラーメン横丁などへの利活用

古い倉庫群の独特的雰囲気を活かして
ラーメン横丁などの飲食機能を導入する
古くからある米穀用倉庫群の一部を、観光物産・
飲食・ミニミュージアム機能を有する複合施設として活用した事例



既存資源を磨き取り組み
回遊性を高める取り組み



第5章 整備構想の実現に向けて

5-1 段階的整備の考え方

